

JX (NELEUS)

B.C. 取扱説明書

まえがき

お買い上げいただきありがとうございます。 この取扱説明書は、レジャーダイビング用浮力調整機器(B.C.) NELEUS をご使用いただくためのガイドブックです。

本取扱説明書は、潜水指導団体の講習を受けてカードを取得し、B.C.の正しい使用方法を身につけた方はもちろん、潜水指導団体の指導のもとでご使用になる方にも、技術を習得する上でお役に立つものと考えております。この取扱説明書をよくお読みになり、内容を十分に理解された上で実際にご使用下さいますようお願いいたします。またダイビング前にこの説明書をご覧になれるよう、お出かけの際はいつもお持ちいただく事をお勧めいたします。

本取扱説明書は紛失なされぬよう大切に保管ください。紛失された際は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱店におたずねください。 後日、再交付致します。

この取扱説明書の主な内容は、製品の組み立て、タンクへのセッティング、使用前の点検、使用方法、かたづけ方、保管と定期点検からなっています。

B.C. NELEUS は、レジャーダイビング用レギュレーターとの組み合わせにより使用が可能となるダイビング用品です。したがいまして、正しいレギュレーターの取り扱いの知識が必要となります。ダイビングを実際にされる際は、この NELEUS の取扱説明書とともに、ご使用となるレギュレーターの取扱説明書をご利用ください。またレギュレーターの機種によっては、本製品との組み合わせによる使用に適さない事も考えられます。ビーイズム社製レギュレーターとの組み合わせによるご使用をお勧めいたします。

B.C. の設計内容に関する不断の研究・改良の結果、この取扱 説明書の内容がお買い上げの製品と詳細において異なる場合があ りえます。

お買い上げの製品またはこの取扱説明書の内容につきましてのご質問は、下記までご遠慮なくお問い合わせください。

東京都中央区東日本橋3-6-18 NFビル5F 〒 103-0004 株式会社ビーイズム

電話 (03) 5640-8126 FAX (03) 5640-8131

目次

よんか	ਣ	-	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	•	ı
必ずお	読	みり	< 1	だ	5	い	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	. 2	2
主な特	徴	1ع	士	様	•	•	٠	•	٠	٠	•	٠	•	•	•	•	•	٠	٠	•	•	•	. 2	2
各部の	な	ま	Ź	•	•	•	٠	•	٠	٠	•	٠	•	•	•	•	•	٠	٠	•	•	•	• 3	3
使用上	ග	ごえ	主į	意	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	٠	• 5	5
組み立	τ	る	•	•	•	•	٠	•	•	٠	•	•	•	•	٠	•	•	٠	٠	•	٠	•	• 6	3
タンク	に	セ、	ッ	ト	す	る	前	に	• • •	•	•	•	•	•		•	•	•		•	•	•	• 6	3
タンク	^	၈-	セ	ッ-	テ	1	ン	グ	•	•	•	•	•	•		•	•	•		•	•	•	• 8	3
B. C	. :	ホ-	— ;	ス	か	接	続			•	•	•	•	•		•	•	•		•	•	•	• 8	3
給·排	気	基	本打	嬠	作	ع	作	動	点	検													. (9
着る・	脱	ぐ																				•	1 ()
基本使	用	方	去			•		•															1 2	2
ウェイ	1	ポ	ヶ、	ッ	1	の ⁻	使	い	方														1 2	2
2WA	Υ	イ:	ン:	フ	レ・	_	タ	_															13	3
F. T		Α.	(の	淍	整																•	13	3
タンク	か	61	よっ	ず	す																		1 4	1
洗う・	乾	かっ	す																				1 4	1
保管と	定	期,	点相	倹	•	ア	フ	タ	_	サ	_	ビ	ス										1 5	5
故障?	٤	思	27	t= 1	b																		16	3
	S必主各使組タタB給着基ウ2Fタ洗保(ずな部用みンン・・る本ェW・ンう管)お特の上立ククC排・使イATク・と	が主各使組タタB給着基ウ2Fタ洗保ですな部用みンン・・る本ェW・ンう管が特の上立ククC排・使イATク・という微なのてにへ、気脱用トY・か乾定	主各使組タタB給着基ウ2Fタ洗保物の上立ククC排・使イATク・と徴なのてにへ、気脱用トソ、か乾定とまごるセのホ基ぐ方ポイAらか期	必主各使組タタB給着基ウ2Fタ洗保ずな部用みンン・・る本ェW・ンう管・・ お特の上立ククC排・使イATク・とのではまごるセのホ基ぐ方ポイAらか期のとまごるセのホ基ぐ方ポイAらか期のでは、	必主各使組タタB給着基ウ2Fタ洗保ずな部用みンン・る本ェW・ンう管がなのてにへ、気脱用トY・か乾定く仕え注・ッセー本・法ケン・はす点がは、では、意・トッス操・・ッフのず・検	必主各使組タタB給着基ウ2ドタ洗保 がずな部用みンン・・る本ェW・ンう管 みとまごるセのホ基ぐ方ポイムらか期 く仕え注・トッス操・・ッフのず・検 にへ・・・・・カシカー	必主各使組タタB統着基ウンと下タ洗がお特のなのごるセのホ基で方ポイAにかもないでは、「気脱用トYにかもない。」が、「大快・・・・・すテの作・・・トレ調す・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	必主、 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	必ずお読みくだ様・を ではいいでは、 をはいいでは、 をはいいでは、 をはいいでは、 をはいいでは、 をはいいでは、 をはいれるでは、 をはいれるでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではいいでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないでは、 ではないではないではないでは、 ではないではないではないではないではないではないではないではないではないではない	必ずお読みくだ様・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	必ずお読みください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	がずお読みください・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・												

本書で使われているマークについて

▲ 危険

守らないと、重大な怪我や死亡事故につながる危険性が極めて高い事柄です。

▲ 警告

守らないと、重大な怪我や死亡事故につながる可能性 がある事柄です。

▲ 注意

守らないと、物損事故が起きる可能性がある事柄です。

【お知らせ】知っていると便利な操作や解説です。

必ずお読みください

使用目的

本製品は、レジャーダイビングにおける使用を前提とした潜水器材です。 レギュレーターとの接続によりその使用が可能となり、レジャーダイビング時における、 「中性浮力の調整」をおこなう浮力調整装置です。

お使いいただく前に

本取扱説明書ならびレギュレーター取扱説明書に示された安全に関する注意事項をよくお読みになってから、ダイビングを行ってください。

■救命具、浮輪として使用しないでください

▲ 警告

- ●本製品を、レジャーダイビング以外の目的で使用しないでください。特に、救命具や浮輪等として使用しないでください。空気が抜けることがあり、溺れる原因となります。
- ■Cカードを取得してからご使用ください

🛕 警告

●本製品を使用する場合は潜水指導団体の講習を受け、Cカードを取得しB.C.の正しい使用方法を身につけた後でご使用ください。または潜水指導団体の指導のもとでご使用ください。人身事故につながる恐れがあります。

特徴

- ■カマーベルト長さ調整機構(6ページ)
- ●ウエスト部のカマーベルトの長さ調整ができます。
- ●更にウエストベルトを 20cm 延長することができるエクステンションベルトをオプション販売しています。お買い上げ店、もしくは弊社商品取扱販売店にてお問い合わせ下さい。(別料金)
- ■ロングタンクバックル (8ページ)

特に強い力を必要としなくてもタンクに固定できるロングタンク バックルを採用しています。

- ■簡単な排気操作(12ページ)
- OUTボタンによる排気(パワーデフレーション)ができます。
- ORALボタンによる排気ができます。
- ●ショルダーベルト部のエギゾーストノブを引くと、右肩のリリーフ バルブより排気 (クイックデフレーション) できます。
- ●右腰部のエギゾーストノブを引くと、右腰のリリーフバルブより排 気(クイックデフレーション)できます。
- ■クイックリリースショルダーバックル採用 (11 ページ) 親指だけで簡単にショルダーベルトを緩める事ができるクイックリリースバックルを採用しました。
- H. f. s. フロート構造採用

B. C. へ給気したときに特殊形状リブの効果によって体を包み込むように膨らむフロート構造を採用しました。

■薄型ハーネス採用

タンクをより体に近づけ重量をほどよく分散する新設計の薄型ハーネ スを採用しました。

■ 2WAYインフレーター採用 (13ページ)

蛇腹ホースを背中側からまわして使用することもできる2WAYインフレーター方式を採用しました。

■ウェストカーブライン採用

腰周りのあたりを抑え、体にフィットしやすいウェストカーブラインを採用しました。

- F. T. A. (フロント・タイト・アジャスター) 採用 (13ページ) ストレッチコードの長さを変えることによりBCのフロント部分 (ポケット部分) の上下の動きをタイトにまたはルーズに調整することができます。
- ■ショルダーベルト長さ調整機構 (7ページ) ショルダーベルトの最大長さを調整することができます。

■安全に関する注意事項を守ってください

▲ 警告

- ●本製品を使用する際は、この取扱説明書に指示されている 安全に関する注意事項をすべて守ってください。
- ■異常があったら使用しないでください

▲ 警告

- ●B.C.に異常があったら使用してはいけません。
- ●異常がみられた場合は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱 販売店にご相談下さい。正常ではないB.C.の使用は、 人身事故につながる恐れがあります。

仕様

本体

最大浮力; XS; 117N(12kgf), S; 137N(14kgf),

M;157N(16kgf), L;196N(20kgf), XL; 245N(25kgf) 重量(JX3010Q は M. L. XL サイズのみ)

[JX3010D] ;XS:3. 3kg, S:3. 4kg, M:3. 5kg, L:3. 7kg, XL:4. 0kg [JX3010Q] ; M:3. 9kg, L:4. 1kg, XL:4. 4kg

胴周り長さ;55 cm ~ 110 cm

ポケット積載重量 ; 5kg 以下(片側) 使用温度範囲 ; -5~+50℃

材質;合成樹脂引布 基布;ナイロン 裏面;ポリウレタン

ホース部分

材質;内管 ;塩化ビニル樹脂

外皮 ;塩化ビニル樹脂 継手金具 ;銅合金

外径; 13 mm 長さ; 700 mm

継手ネジの呼び; 3/8-24UNF 最高使用圧力; 15 bar

最小曲げ半径 (ホース内側); 115 mm

ホースガード 標準装備

リリーフバルブ

位置; 右肩部に1ヵ所、右腰部に1ヵ所 オーバープレッシャー排気作動圧力 ;0.2 bar 以下 クイックデフレーションに必要な引張り力;9.8 ~ 14.7 N (1 ~ 1.5 kgf)

゙゚コンビネーションバルブⅡ

蛇腹ホース長さ;550 mm (JX の L, XL サイズは 670 mm) (ブランケット中心からORA Lボタン先端までの長さ)

重量: 405g 給気流量: 80 リットル/分

フロート破裂防止装置

■リリーフバルブ

誤って過剰にB.C.のフロートに給気してしまったときに、その破裂を防ぐために、フロート内圧力が一定圧を超えると自動的にリリーフバルブの弁が開き、ブランケットより空気を逃がす構造になっています。

各部のなまえ

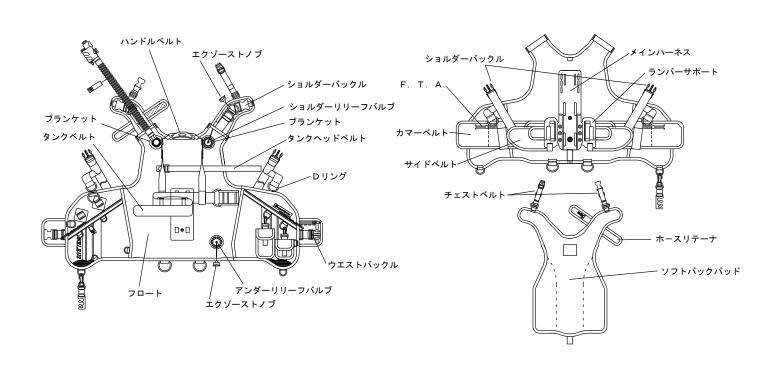
組み立て時

■ JX3010D



バックル解放時

■ JX3010D



インフレーター

■コンビネーションバルブⅡ



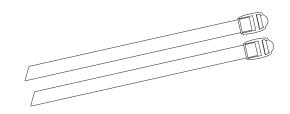
付属品

本製品をお使いになる前にお確かめください。詳しい説明は、()内のページをご覧ください。

■B.C.ホース(1本)ホースガード(1個) レギュレーターファーストステージに装着(6ページ)

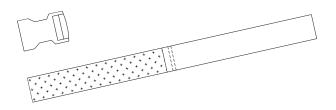


■パッチベルト (JX シリーズのみ; 2 本) B. C. 本体に装着 ナイフの固定等にご利用下さい。



- ■保証書(1部)
- ■取扱説明書(1部)

■バックルメス(1 個)ジャバラベルト(1 本) (JX シリーズのみ) コンビネーションバルブをN EWバックポジションで使用するとき に装着。(13 ページ)



▲ 使用上の注意

口安全ルールを守りましょう

潜水指導団体の講習を受け、Cカードを取得し、B.C. の正しい取り扱い方法を身につけた後、あるいは潜水指導団体の指導のもとでご使用ください。

点検等は、バディにも行ってもらいましょう。 一般的なレジャーダイビングの安全範囲である水深 30m より深 い深度へのダイビングは避けてください。

口体にフィットするサイズをお選びください

体型にあったサイズの B.C. をご使用ください。 水中でのバランスが悪くなるなど、性能面の低下を招きます。

ロショックを与えないでください

通常の使用状態でのショックには十分耐えますが、落としたり、 強くぶつけたりすると故障の原因になります。

ロアレルギーにご注意ください

素肌への着用などの際、皮膚の弱い方やアレルギー体質の方は、かぶれたりすることがあります。万一、かぶれた場合には、その B.C. の着用をやめ、皮膚科の専門医にご相談ください。

□弊社ホースガードをご使用ください

B.C. ホースには、弊社製品以外のホースガード、ホースプロテクター等を取り付けないでください。ホース破損の原因となる場合があります。

口改造はしないでください

改造は、安全上問題となることがあります。改造はしないでください。改造 後のトラブルに関しては、責任を負い かねます。



□薬品類に関してご注意ください

水銀や化学薬品(シンナー、ガソリン、各種溶剤、またはそれらを含有しているクリーナー、接着剤、塗料、薬剤、化粧品類)が付着すると、本体およびホースなどに変色や破損を生ずる事があります。



口サイドポケットにウェイトを入れないでください

▲ 警告

●サイドポケットにウェイトを入れないでください。ポケット故障の原因になるだけでなく、緊急時にウェイトを取り外すことが難しくなり人身事故につながる恐れがあります。



ロオーバーウェイトはやめましょう

▲ 警告

●潜水する前に必ず、フロートから空気を完全に抜いた状態で水面での中性浮力が確保できるように、ウェイトの調整を行ってください。潜水落下による人身事故につながる恐れがあります。



□ホースを折ったり、引っ張らないでください

▲ 警告

●ホースを折ったり、引っ張ったりしないでください。壊れるばかりでなく 人身事故につながる恐れがあります。



□リフティングバッグとして使わないでください

▲ 警告

●給気する空気の浮力を利用して浮上するような使い方はしないでください。(リフティングバッグなど) 急激な浮上により潜水病になる可能性があります。

口高いところから飛び込まないでください

▲ 警告

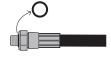
●エアセルに空気を入れた状態で 2m 以上の高いところから飛び込まないでください。大きな浮力が急激にかかり、B.C. が壊れるばかりでなく怪我をすることがあります。

組み立てる

レギュレーターにB.C.ホースを取りつける

▲ 警告

- ●レギュレーターファーストステージがタンクに接続していない状態で取り付けてください。作業中ファーストステージ内に圧力がかかっていると、ポート蓋が飛ぶなどして危険です。
- ●レギュレーターは、ファーストステージの L.P. ポートのネジの呼びサイズが 3/8-24UN F のものをご使用ください。破損をまねくだけでなく、ホースが抜けるなどして人身事故につながる恐れがあります。
- ●B.C.ホースの接続ネジ部根元にOリングがセットされていることをご確認ください。Oリングが無い場合エア漏れの原因となります。



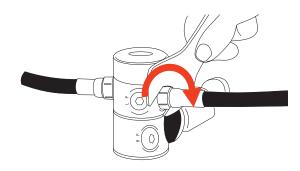
● H.P. (ハイ・プレッシャー) ポートに取り付けないでください。

▲ 注意

- ●B.C.ホース金具部分をスパナで締め付ける際は、9.8N·m (100kgf·cm) の締付トルクを守ってください。ネジを傷める原因 となります。
- ●他社製ホースガードを取り付けないで下さい。
- レギュレーター、ファーストステージの L.P. (ロー・プレッシャー) ポートの蓋を外してください。



② B.C.ホースをL.P.ポートに、スパナで時計方向に回して締め付けてください。締付けトルクは 9.8N·m (100kgf·cm) です。



【お知らせ】

○ご不明の方は、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店へ接続をご依頼ください。

タンクにセットする前に…

B.C.ホースの点検

ホースが破損していないか、折れていないかを点検します。

▲ 警告

- ●B.C.ホースに異常があったら使用してはいけません。
- B. C. ホースに異常がみられた場合は、ご使用を控えお買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談ください。

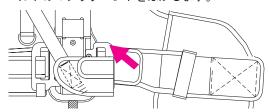
カマーベルト長さを調整する

▲ 警告

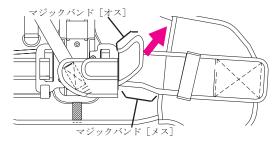
- ●ハーネスとサイドベルトをつなぐマジックバンドをはがしたり、 あわせ部分の幅をかえたりしないでください。
- ●実際に着用するスーツを着て長さ調整を行ってください。

口短くする

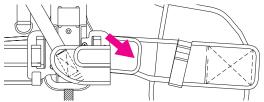
- 1 ソフトバックパッドを外します。



ベルトを短くする分だけ引き出します。この時、引き出しすぎてマジックバンド [オス] がマジックバンド [メス] からはみ出ないように注意してください。



マジックバンドを表と裏から押さえ付け、貼合わせます。



以フトバックパッドを取付けます。

口長くする

- 「短くする」の「1~2」と同様に行い、「3」で長くする方向にベルトを送ります。この時、送り過ぎてマジックバンド[オス]がハーネスのスリットの中に入る事がないよう注意して下さい。
- ② 「4」と同様に、マジックバンドを貼合わせ、「5」と同様に、 バックパッドを取付けます。

【お知らせ】

○着用するスーツの種類により、ウエスト寸法は大きく変化します。 着用する ダイビングスーツを変えた場合は、必ず長さ調整をやり直 してください。

〇カマーベルトは左右に一つずつあります。両方を使って長さ調整 行って下さい。

タンクにセットする前に··· (つづき)

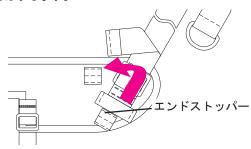
ショルダーベルトの最大長さ調整

【お知らせ】

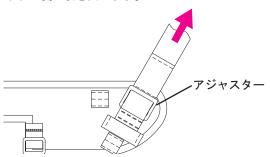
- ●ショルダーベルトを最もゆるめた時の最大長さを調節することができます。
- ●ショルダーベルトの最大長さを長くしておくと、ドライス一ツを着たときなどに腕が通しやすくなります。
- ●ショルダーベルトの最大長さを短くしておくと、BCを装着した時に余ったベルトが邪魔になりにくくなります。

ロショルダーベルトを長くする

ショルダーベルトの下端をエンドストッパーからはずします。



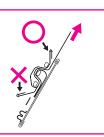
② アジャスターの部分でショルダーベルトをずらし、下端を バックル側へ引き出します。

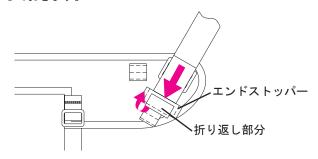


▲ 注意

●ショルダーベルトの下端はアジャス ターから外さないようにしてください。

ショルダーベルトが外れ、人身事故につながる恐れがあります。





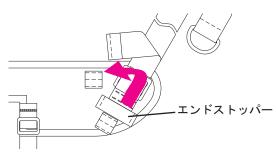
【お知らせ】

●ショルダーベルト下端の折り返し部分を エンドストッパーに引っ掛けておくと 余った部分が外れにくくなります。

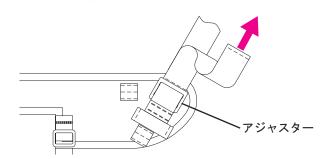


□ショルダーベルトを短くする

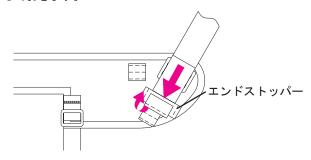
ショルダーベルトの下端をエンドストッパーから はずします。



② アジャスターの部分でショルダーベルトをずらし、下端を バックルの反対側へ引き出します。



② 調整後、余ったショルダーベルトはエンドストッパーに通 しておきます。



タンクへのセッティング

B. C. をタンクに取り付ける

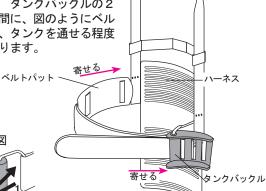
▲ 警告

- 取り付けの際、タンクは平らな地面など安定した場所に置いて下 さい。倒れるなどして危険です。
- ●取り付けの際、ハンドルベルトがタンクとB.C.の間に挟まら ないようご注意下さい。ハンドルベルトが使えないばかりでなく、 タンクがしっかり固定されません。

【お知らせ】

〇ハンドルベルトは、B.C.をタンクにセットした後でタンク ごと運ぶための取っ手です。

タンクバックルとベルトパット の位置がハーネス側に近くなる ように、左右にベルト上をずら タンクバックルの2 します。 ヵ所の隙間に、図のようにベル トを通し、タンクを通せる程度 の輪を作ります。



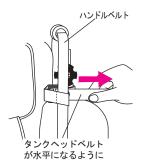
ベルト通し図



タンク上部からタンクベルトの輪を とおし、タンクバルブの空気出口側 が着用時背中側を向くように、タン クの向きをあわせます。

さらにタンクヘッドベルトを、水平 の状態でタンクバルブの下部分でと められるようにB.C.の取付け高 さをあわせ、締め付けます。

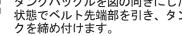
このときタンクヘッドベルトをきつ く締め過ぎないように注意してくだ さい。



ハンドルベルト

Q

タンクバックルを図の向きにした 状態でベルト先端部を引き、タン





- クバックルを倒します。 ベルトの先端はベルト上のマ ジックバンドに張り合わせま
 - タンクベルトを持ち上下に動 かしズレないか確認します。 ズレてしまった場合は、始め からやり直してください。 (はずし方は17ページ参照)

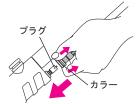
【お知らせ】 ○レギュレーターのファーストステージをセットする前に、 B.C.をタンクにセットします。

B.C.ホースの接続

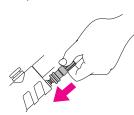
B.C.ホースを接続する

4 警告

- ●B.C.ホース接続の作業を行うときはタンクバルブを閉じレ ギュレーターのパージボタンを押してホース内の圧縮された空気を 抜いてください。
- レギュレーターファーストステージをレギュレーターの取扱説 明書にしたがって、タンクバルブにセットします。
- の B.C.ホース先端のカプラー △ のカラーを引きながら、プラグ に軽く差し込みます。



カプラー根元に持ちかえ、 "カチッ"と音がするまで押し 込みます。



カプラー根元を持ち、引っぱり、抜けないか確認してください。 抜けてしまった場合は、始めからやり直して下さい。

B.C.ホースの接続部をチェックする

▲ 警告

- ●接続部からエア一漏れがあったら、使用してはいけません。
- ●接続部からエアー漏れが止まらないときは、お買い上げ店も しくは弊社商品取扱販売店までご相談下さい。

タンクのバルブを、レギュレーター・ゲージの取扱説明書にした がって開きます。接続部に指をあてて、エアーが漏れていない か確認します。

また、空気の漏れる音がしていないか確認します。

漏れていたらバルブを閉じ、レギュレーターセカンドステージ のパージボタンを押すなどして、ホース内の圧力がかかってい ない状態にしてから、もう一度カプラーを付け直し再度チェッ クします。

□B. C. ホースをはずす

▲ 警告

- ●B.C.ホースをインフレーターからはずす前に、必ずタン クバルブを閉じ、レギュレーターのパージボタンを押してホース内 の圧縮された空気を抜いてください。
- タンクバルブを締め、レギュレーターセカンドステージのパ ージボタンを押し、ホース内の空気を抜きます。
- BCホース先端のカプラーのカラーを引き、引いたままの状 igsigma 態で、プラグより抜きとります。



給・排気基本操作と作動点検

インフレーター給・排気操作と作動点検

▲ 警告

- ●インフレーターの IN ボタンによる給気 (パワーインフレーション) は、インフレーターが正しくセットアップされ、かつタンク内にエアーがある場合のみ行われます。エアーが十分にない場合は給気されません。
- ●インフレーター部分に強い衝撃を与えないで下さい。破損の原因となり動作不良を引き起こします。
- ●下記点検において異常がみられた場合は、使用を中止し、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にご相談下さい。

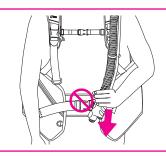
▲ 注意

●ダイビング中、B.C.のフロート内に空気が入っていない状態で排気操作を続けないで下さい。B.C.フロート内に多量の水が入ることがあります。

□作動点検

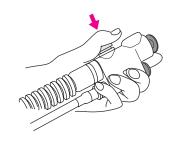
▲ 警告

- ●OUTボタンによる排気は、インフレーターが正しくセットアップされ、かつタンク内にエアーがある場合のみ操作ができます。エアーがない場合は作動しません。
- ●コンビネーションバルブを引っぱらないで下さい。破損の原因となり、エアー漏れ、動作不良を引き起 こします。



■給気操作

「パワーインフレーション」 IN ボタンを押すと、フロート内に給気されます。押している間だけフロート内に空気が入るか確認します。

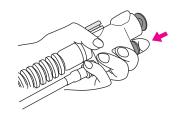


② [オーラルインフレーション] インフレーターのマウスピースをしっかりくわえ、息を吹き込む時だけORALボタンを押すとフロート内に空気が入ります。確実に給気されるか確認します。



■排気操作

「パワーデフレーション]
OUTボタンを押すと左肩のブランケット内の弁が解放され、フロート内の空気が抜けます。フロート内に空気を八分程度入れ、押している間だけ排気されるか確認します。



② [ORALボタンによるデフレーション] ORALボタンを押すとインフレーター内の弁が解放され、フロート内の空気がマウスピース部より抜けます。

フロート内に空気を八分程度入れ、ORALボタンを押している間だけ排気されるか確認します。



【お知らせ】

〇〇 U T ボタンによる排気(パワーデフレーション)を行うと、〇UTボタンの付け根から少量のエアーが排出されますが故障ではありません。

〇水中での排気操作については、13ページに記載されています。

給・排気基本操作と作動点検 (つづき)

リリーフバルブ排気操作と作動点検

🛕 警告

- ●異常があったら使用してはいけません。
- ●下記点検において異常がみられた場合は、使用を控え、 お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店にお持ち込みご相談下 さい。

🛕 注意

●リリーフバルブによる排気の際、エグゾーストノブを強く引っぱ りすぎると破損の原因となります。弁が動く程度の力で十分です。 ご使用の前に力の程度を確認しておいてください。

□外観の点検

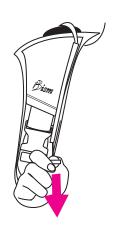
ショルダー・アンダーの各エグゾーストノブの紐が、切れかかっ ていないか確認します。

□作動点検

- ■オーバープレッシャー時の排気動作
- INボタンを押しフロートを膨らませます。
- さらに IN ボタンを押し続け、自動的にリリーフバルブから 空気が排出されることを確認します。
- ■ショルダーリリーフバルブによる排気操作 [クイックデフレーション]

エグゾーストノブを下方向に引くと、 引いている間だけ肩の弁が解放され、 フロート内の空気が右肩リリーフバル ブより抜けます。

フロート内に空気を八分程度入れ、エ グゾーストノブを引いている間だけ、 排気されるか確認します。



■アンダーリリーフバルブによる排気操作 [クイックデフレーション]

エグゾーストノブを下方向に引くと、引いている間だけ腰の弁 が解放され、フロート内の空気が右腰リリーフバルブより抜け ます。

フロート内に空気を八分程度入れ、エグゾーストノブを引いて いる間だけ、排気されるか確認します。

【お知らせ】

〇リリーフバルブの役割には、フロート内に空気を入れすぎた時 にフロートの破裂を防ぐために、フロート内部の圧力が一定の レベルを超えると自動的にエアーを排出する役割があります。 〇水中での排気操作については、12ページに記載されています。

着る・脱ぐ (ショルダー・ウェスト

バックルの使い方)

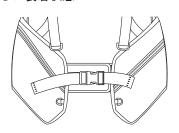
実際に着る前に、各種バックルの使い方を身につけましょう。

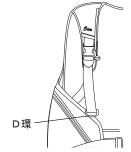
▲ 警告

●水中では、ショルダー・ウエストの各バックルをはずさない でください。人身事故につながる恐れがあります。

ショルダー・ウェストバックルの使い方

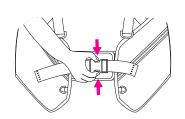
■正しい装着状態

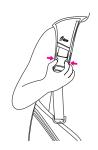




□バックルを、はずす

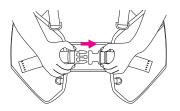
図のように、バックル中央部を強くつまむと、 バックルははずれます。





□バックルを、はめる

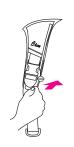
図のように、バックルのオス側をバックルのメス 側に強く押し込むと、カチッという音とともに、 はまります。





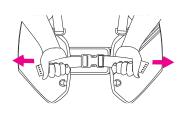
ロベルト長さをゆるめる バックルを図のように手前に持ち上げベルトを ゆるめます。

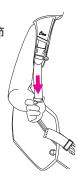




ロベルト長さを短くする

D環を下方向に引くだけで、ベルト長さが短く調節 できます。着る際は、左右のD環を同時に引き体 にフィットさせます。



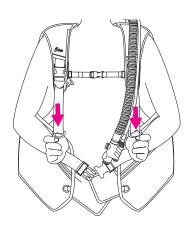


▲警告

- ●B.C.の着用は、着用を手伝うバディ以外に近くに人がいないところで行ってください。タンクなどがぶつかるなどして人身事故につながる恐れがあります。
- ●B.C.のショルダーバックルを、両肩とも止めた状態でご着用ください。はずした状態での着用は、タンクごと落とすなどして危険です。

B.C.を背負う

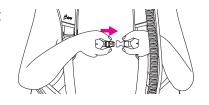
- ショルダーバックルを左右とめた状態で、ベルトを長めにしておきます。ウエストベルトは、バックルをはずし、カマーベルトもはがし、ベルトもゆるめた状態にしておきます。またホース類もからまぬように、タンク側によけておきます。
- ② 左右の袖をとおし、背負 います。
- ショルダーベルトのD 環の左右両方を同時に 引き、体にフィットさせ ます。



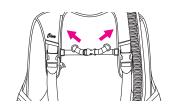
カマーバンドを張り合わせウエストのバックルをとめます。



- りエストベルトの左右両方の先端を同時に引き体にフィットさせます。
- バックルのオス側をバックルのメス側に強く 押し込むと、カチッという音とともに、はまります。

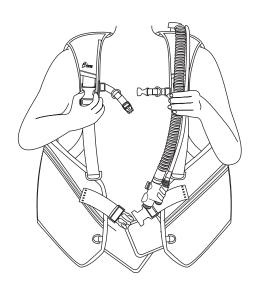


〗 ベルトの緩みをなくし 〗 ます。



B. C. を脱ぐ

- チェストベルトのバックル、ウエストバックルをはずし、 さらにカマーベルトをはがします。
- ② 一方のショルダー部分を同じ側の手でしっかりと持ちます。 もう一方の手で持っていない側のバックルをはずします。



一方の手でしっかりとショルダー部分を持った状態で、タンクを 前方にまわしこみ、反対の手でタンクをかかえながら、下に置き ます。

基本使用方法

B. C. に空気をいれる

▲ 警告

- ●水中では、ORALボタンを押しての給気は行わないようにして下さい。あやまって水を飲み人身事故につながる恐れがあります。
- ●インフレーターの IN ボタンによる給気は、タンク内にエアーがある場合のみ行われます。エアーが十分にない際は給気されません。

【お知らせ】

- ●B.C.内に空気をいっぱいにいれた状態でさらに給気を続けると、フロートの破裂を防ぐためにリリーフバルブより空気を逃がす構造になっています。
- □ I N ボタンで給気する(水中・水面) I Nボタンを押すとB. C. 内に空気が入ります。
- □ORALボタンで給気する(水面のみ)

浮力をフィンキック等により十分に保った状態で、インフレーターのマウスピースをしっかりくわえ、息を吹き込む時だけ ORALボタンを押し、空気を吹き込みます。

B.C.の空気を抜く

▲ 警告

●B.C.ホースが正しくセットされていない、タンクバルブがしまっている、タンク内の圧力が十分にないなど使用に際し正常にセットアップされていないときは、OUTボタンによる排気はできません。

□OUTボタンで排気する

左肩のブランケットの位置が、フロートにおいてもっとも上となる体勢(直立姿勢など)をとり、手元で OUTボタンを押すとブランケットより空気が抜けます。

【お知らせ】

● O U T ボタンによる排気は、 B. C. 中圧ホースが正しくセットされ、タンクバルブが開いた状態のときのみ可能です。

□ORALボタンで排気する

左肩のブランケットの位置が、フロートにおいてもっとも上となる体勢 (直立姿勢など)をとり、さらにインフレーターを水面方向に上げながら ORALボタンを押すと、インフレーターマウスピース部より空気が抜けます。

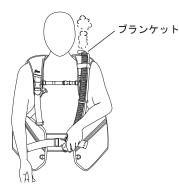
□エグゾーストノブで排気する

■ショルダーリリーフバルブの場合

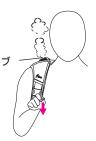
右肩のリリーフバルブの位置が、フロートにおいてもっとも上となる体勢(直立姿勢)をとり、エグゾーストノブを引くと、右肩のリリーフバルブより空気が抜けます。

■アンダーリリーフバルブの場合

右腰のリリーフバルブの位置が、 リリーフバルブ フロートにおいてもっとも上と なる体勢 (ヘッドファーストの 際など) をとり、エグゾースト ノブを引くと、右腰のリリーフ バルブより空気が抜けます。







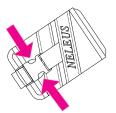
フバルブ 一

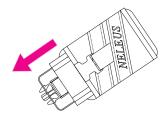
ウェイトポケットの使い方

ウェイトを装着する (JX30100 のみ)

▲ 警告

- ●ウェイトリリースバックルは緊急時以外は使用しないで下さい。人身事故につながる恐れがあります。
- ●ウェイトを装着する時はウェイトリリースバックルが確実にセットされていることを確認してください。バックルのセットが不完全な場合、ウェイトを落とし、怪我をする可能性があります。
- 「バックル中央部を強くつまんでバックルを外し、インナーポケットを取り出します。





インナーポケットのフラップを開き、ウェイトを入れます。



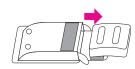
▲ 注意

- ●ウェイトは片側2kgまでとしてください。ポケットが破損 する恐れがあります。
- インナーポケットをウェイトポケットに入れ、バックルのオス側をメス側にカチッと音がするまで押し込んで確実にはめ込みます。



ウェイトをはずす (JX30100 のみ)

- 「バックル中央部を強くつまんでバックルを外し、インナーポケットを取り出します。
- ② インナーポケットのフ ラップを開き、ウェイト を取り出します。



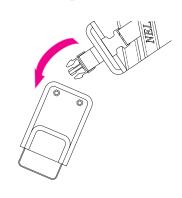
インナーポケットをウェイトポケットに入れ、バックルの オス側をメス側にカチッと音がするまで押し込んで確実に はめ込みます。

緊急に浮力確保が必要な場合 (JX30100 のみ)

▲ 警告

- ●緊急時以外は以下の方法によるクイックリリースは行わないで下さい。落下したウェイトが潜水者にぶつかり、人身事故につながる恐れがあります。
- ●バディにもウェイトリリースの方法を教えてください。事故発生時の救出ができない可能性があります。
- 「 バックル中央部を強くつまんでバックルを外します。
- ② ウェイトポケットの開口部 が下(海底方向)を向いた 時にウェイトが落下します。

自然に落下しない場合はインナーポケットの取っ手を 引いて取り出してください。



2WAY インフレーター

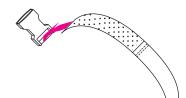
インフレーターを背中からまわす

▲ 警告

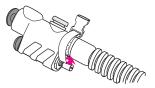
●インフレーターを背中からまわして使用する時は蛇腹ホースをフロートの背中側に固定しないで下さい。 ORALボタンによる給気が困難になり人身事故につながる恐れがあります。

【お知らせ】

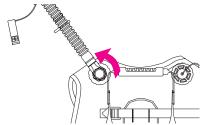
- ●インフレーターを背中からまわして装着することにより左胸元に 蛇腹ホースが無い、すっきりとした状態にすることができます。
- √ 付属部品のバックルメスにジャバラベルトを通します。



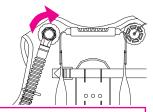
② ジャバラベルトをコンビネーションバルブの手元の操作部 側に寄せて取りつけ、面テープをジャバラベルトが動かな いように貼り合わせます。



ブランケットのネジを緩めてコンビネーションバルブを取り外します。

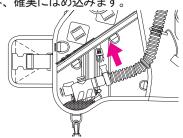


コンビネーションバルブを下向きにして、ブランケットの 12角形になっている凸部と凹部の角を合わせてねじ込み ます。



▲ 警告

- ●ブランケットの12角形の凹凸を確実に合わせて奥までねじ 込んで下さい。
 - 12角形がずれているとエア漏れの原因になります。 ねじ込みが足りないとブランケットが外れ、人身事故に つながる恐れがあります。
- コンビネーションバルブに取りつけたバックルメスをカチッと音がするまで押し込み、確実にはめ込みます。



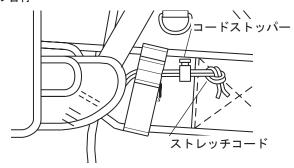
F.T.A.の調節

F.T.A.の調節

【お知らせ】

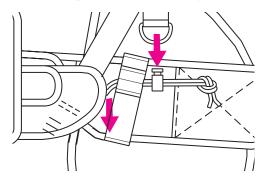
- F . T . A . (フロント タイト アジャスター) を調整すること によってカマーベルトやポケットの上下の動きを調整することが できます。
- ●B. C. を背負う時にF. T. A. を緩めておくとカマーベルト やポケットが上下に動きやすくなり、B. C. 内に空気をいっ ぱいにいれてもカマーベルトが持ち上がりにくくなります。
- ●B. C. をタンクにセッティングして運搬する場合、事前に F. T. A. を締めておくと、カマーベルトやポケットが垂れ下 がりにくくなります。

■各部の名称



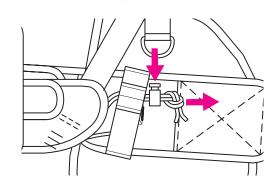
□ F . T . A . を緩める

コードストッパーのボタンを押しながらストレッチコードのサイドベルトに近いところを図のように引っ張って緩めます。



□ F . T . A . を締める

コードストッパーのボタンを押しながらストレッチコードの結び目を図のように引っ張って締めます。

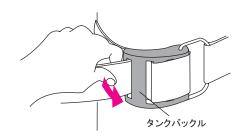


タンクからはずす

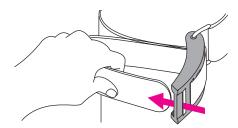
タンクからのはずし方

▲ 警告

- ●タンクからB.C.をはずす際は、タンクを平らな地面など安定した場所に置いてください。倒れるなどして危険です。
- タンクバルブを締め、レギュレーターセカンドステージの パージボタンを押すなどして、ホース内に圧力がかかって いないようにしてから、B.C.ホースをプラグより外し ます。(7ページ参照)
- √ レギュレーターファーストステージをタンクからはずします。



4. タンクバックルの穴より、ベルトを抜き取ります。



タンクバックル付け根を矢印の方向にずらすと、ベルトがゆるみます。



- ⑤ タンクヘッドベルトのマジックバンドをはがします。
- タンクベルトの輪をゆるめ、タンク上部からB.C.を抜き取りはずします。

【お知らせ】

●B.C.からはずした後もタンクバックルからベルトを抜き取らない状態にしておくと、次回のセッティングの際に容易です。

洗う・乾かす

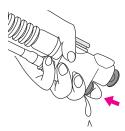
外側を洗う

▲ 注意

- 50°C以上のお湯に付けると、器材破損の原因となります。
- ●B. C. は使用後直ちに真水で洗ってください。付着した塩分が、乾燥・結晶化するとバルブの作動不良の原因となります。
- 全体を15分程度真水につけた後で、水の中で全体をよくすすぎ塩分をとります。
- ② 各バルブ、インフレーター部分を真水でよく洗い流します。

バルブ内部を洗う

- ② タンクバルブを開き、OUTボタン を4~5回押します。OUTボタン 付け根より、バルブ内の水分が排出 されます。



フロート内部を洗う

▲ 注意

- ●B.C.に空気を入れながら、その圧力を使ってリリーフバルブから水を 押し出さないで下さい。破損の原因となります。
- インフレーターのORALボタン を押しながら、マウスピース部分 にホース蛇口などを押しあて、フ ロート内に、真水を1/4 程度いれ ます。



- インフレーターのマウスピースより空気を吹き込み、B.C. を膨らませてから、B. C. を十分にゆすって、フロート内部をすすぎ洗います。
- インフレーターホース付け根のブランケット位置が、最も下になるようにもち、さらにインフレーター位置を一番下にして、ORAL ボタンを押し中の水を空気と一緒に出します。
- 「1~4」を2~3回繰りかえします。



洗う・乾かす

乾かす

- インフレーターマウスピースより、八分程度空気を吹き込み B.C.を膨らませます。
- ② 直射日光を避け、乾燥した、風通しの良い日陰で、十分に 乾燥させます。

保管と定期点検

保管の方法

▲ 注意

- ●B.C.ホースは、自然な形で保管して下さい。 無理な曲げはホースの折れ等をまねき、 寿命を著しく縮めます。
- ●B.C.は、折りたたまないで保管 して下さい。



- ■B. C. の洗浄・乾燥を十分に行います。
- ■日があたらない、涼しく、乾燥した、風通しのよい場所に、 ハンガーにかけて保管します。

定期点検について

⚠ 警告

- ●使用の頻度・回数にかかわらず、年に1回、お買い上げ店、 もしくは弊社商品取扱販売店に定期点検に出してください。
- ●使用の有無にかかわらず、定期点検を怠るとB.C.が正常 に機能しないことがあります。

【お知らせ】

- ●部品の中には自然劣化するものもあります。定期点検ではこ のような部品の交換も行います。
- ■年に1回、お買い上げ店もしくは弊社商品取扱販売店に定期 点検に出してください。(有償)

保管と定期点検

保証書について

- ■この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お受け取り下さい。
- ■所定の事項を記入し、記載内容をお確かめの下さい。
- ■保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

□ 保証期間経過後の修理は

ます。

- □ 調子が悪いときはまずチェックを 「故障?と思ったら」の項を参考にして故障かどうかお調べください。
- □ それでも具合の悪いときはサービスへ お買い上げ店、または弊社商品取扱販売店にご相談下さい。
- □ 保証期間中の修理は 保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。
- 詳しくは保証書をご覧ください。
- 修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。
- □ 部品の保有期間について 弊社はB. C. ジャケットの補修用性能部品(製品の機能を維持するために必要な部品)を製造終了後最低8年間保有してい

この部品保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店、もしくは弊社商品取扱販売店にご相談下さい。

故障?と思ったら

	トラブル内容	主な原因	処置	参照ページ
	着たときにフィットしない。	○ウエスト部のカマーベルトの長さがあ	○カマーベルトを調整して下さい。	6
		っていない。		7, 10
		○ショルダーベルト長さがあっていない。	○ショルダーベルトを調節して下さい。	
	B.C.がタンクへしっかり固定できない。	○バックルへの通し方が、間違っている。	〇ベルトをタンクバックルに正確に通し、	8
l			固定します。	
	IN ボタンを押しても膨らま ない。(給気されない)	│ ○B. C. ホースが正しく接続されてい	〇B.C.ホースを接続して下さい。	8
	ない。 (市口火(でインない)	ない。		-
		○タンクバルブが開いていない。 ○タンクにエアーが十分入っていない。	┃ ○タンクのバルブを開けて下さい。 ┃ ○エアーが十分に充填されているタンクにセ	
			ットしなおして下さい。	_
		○排気ボタンを同時に押している。	○排気ボタンを押さないで下さい。	_
ı		○リリーフバルブが開いている。	○エグゾーストノブを引かないで下さい。	
	オーラルインフレーション をしても膨らまない。(給気	○○○日ボタンを同時に押している。	〇〇RALボタンだけを操作して下さい。	9
	しない)	○リリーフバルブが開いている。	○エグゾーストノブを引かないで下さい。	_
		○空気を吹き込む以外の時に、ORA	〇空気を吹き込む時だけ、ORALボタンを押	9
ŀ		L ボタンを押している。	して下さい。(潜水指導団体の講習を参照)	
	ORALボタンによる、排気 ができない。	○姿勢が適当でない。 	○排気口がフロート部よりも高くなる姿勢を とりながら、ボタン操作を行ってください。	12
			(潜水指導団体の講習を参照)	
Ì	エグゾーストノブを引いても	○姿勢が適当でない。	〇リリーフバルブのブランケットの位置がフ	12
	排気しない。		ロートにおいて最も高くなる姿勢をとり操作	
			を行って下さい。	
	リリーフバルブから空気が漏れ	○フロート内圧が一定値を超えている。	○ジャケットの破損を防ぐため内圧が上がりす	_
	る 。		ぎると空気が漏れる構造になっています。	
		○リリーフバルブに異物がはさまっている。	〇バルブをよく水洗いして下さい。	_
	インフレーターのマウスピース部	○オーラルバルブに異物がはさまって 	○インフレーター内をよく水洗いして下さい。	14
	から空気が漏れる。	いる。		
	インフレーターの肩部ブランケッ トから空気が漏れる。	○排気バルブに異物がはさまっている。	○ブランケット部をよく水洗いして下さい。	_
	B.C.ホースがインフレータ	〇B.C.ホース内に圧力がかかってい	○タンクのバルブを閉じ、レギュレーターのパー	8
	一に接続できない。	る。	ジボタンを押すなどしてホース内の空気を抜いて	
		○弊社製品以外のB.C.ホースを使	ください。	
		用しているため接続部のサイズがあわ	┃ ○付属のB.C.ホ―スをご使用ください。 ┃	_
	B. Cが異常に重い。	ない。 〇フロート内部に水が入っている。	○フロート内部の水を、排出します。	14
	浮力が足りない。	〇ウエイトが重すぎる。	○適正なウエイト量に調整して下さい。	_
	OUTボタンを押しても排 気しない。	○B. C. ホースが正しく接続されてい ない。	〇B. C. ホースを接続して下さい。	8
		○タンクバルブが開いていない。	 ○タンクのバルブを開けて下さい。	_
		○タンクにエアーが十分入っていない。	○エアーが十分に充填されているタンクにセ	_
			ットしなおして下さい。	
		○姿勢が適当でない。	○左肩のブランケットの位置がフロートにおい	12
]			て、最も高くなる姿勢をとって下さい。	

Memo	
	П

Memo	
	Π
	_
	_
	_
	_
	_
	_
	_
	_
	_

Memo	

Memo

株式会社ビーイズム

東京都中央区東日本橋3-6-18 NFビル5F 〒103-0004 電話 (03) 5640-8126 (代) FAX (03) 5640-8131 http://www.bism.co.jp E-mail info@bism.co.jp